

車高調キット  
ADJUSTABLE  
SUSPENSION



BLITZ ブリッツ  
ダンパーダブルゼットアール スペックDSC プラス

# DAMPER ZZ-R Spec DSC PLUS



インチアップ&ローダウンによりさらにスタイリッシュに生まれ変わった。ダンパーZZ-Rの導入により上質な走りに仕上げられている。



価格:31万200円  
対応:60系プリウス/[Z](HEV)[G]([Z(PHEV)])[U](Xは開発中)  
仕様:全長調整式、減衰力32[96]段階調整式、単筒式ショック

問:ブリッツサポートセンター ☎0422-60-2277 <https://www.blitz.co.jp>

こちらは乗車人数や走り方に応じて、減衰力を最適に変更してくれるフルオートモードまで搭載。質感の高い走りを実感できる。予算をプラスする必要はあるが、選んでおいて損はないだろう。発売時期は7月中旬。現在、予約を受付中だ。

「60プリウスはフロントのストラット上部がカウルで覆われていて、車両に装着した状態では減衰力変更ができません。スペックDSCプラスなら車内のコントロールで自在に調整でき、本来の機能をしっかり活かせるのでオススメです。」

見た目と走りを高次元で両立すべく、十分なオイル容量が確保できる単筒式ダンパーを採用。さらにストローク量を変えずに車高を変更できる全長調整式とするなど、欲しい機能をフル搭載している。なかでも広報担当の小林徹さんがイチ押しするのは、上位モデルのスペックDSCプラスだという。

国内で初めて第2世代TNGAプラットフォームを採用した60系プリウス。スポーティなイメージを裏切らない軽快な走りを実現している。その素性のよさをさらに高めるべくサスペンションチューンに取り組んでいるのがブリッツだ。大人気車高調『ダンパーZZ-R』に加え、電子制御式の減衰力調整機能を持つ『ダンパーZZ-RスペックDSCプラス』を開発中だという。街乗りから峠走り、高速クルージングまで幅広く対応するこの車高調。一貫してこだわってきたのは「ローダウンしても街中で快適」なこと。

[DEMO CAR]

ホイール	
エンケイ・RS05RR (20×8.5J+45)	
タイヤ	
ダンロップ SPスポーツマックス060+ (245/35)	
設定車高	
フロント-26mm/リア-27mm	



[FRONT]

[REAR]



車高調整幅 (mm)	-50~0
バネレート (kgf/mm)	5.0

バネレートは前後ともに5kg/mm。別体式となるリアにはマイルドな特性となる樽型スプリングを採用し、不快な突き上げ感を抑制する。

車高調整幅 (mm)	-50~0
バネレート (kgf/mm)	5.0

フロント-26mm、リア-27mmとほどよくローダウン。タイヤハウスの隙間が気にならないほど低いのに、街中で気を使わずに走れる。

# 車内からの減衰力変更も自在 しなやか仕上げの電腦サス

## 快適性とスポーツ性を兼ね備えた走り



本誌ライターの小川大輔が試乗「欧州車のような乗り味...とでもいえようか。20インチ履きのローダウン仕様とは思えない乗り心地のよさ。純正は多少の硬さがあるけど、これなら後席に座っていても快適なはず。それでいてカーブではしっかり踏ん張ってくれる。安心感があるので疲れなし、運転が楽しいからいつまでもドライブしてたい。とても質感の高い走りに驚きました」



上位モデルとなるスペックDSC プラスは、室内に設置したコントローラーで減衰力を自在に変更できる。Gセンサーも標準搭載し、走行状態や乗車人数に応じての全自動コントロールも可能なのだ。



### スタンダードモデルはコチラ



スタンダードモデルとなるダンパーZZ-R (21万1200円)も設定。走行性能と乗り心地を高次元でバランスさせ、32段の減衰力調整を備えており、幅広いステージに対応する。